

再エネ等を活用して快適な住環境にするための 奨励金を交付します

◆◆脱炭素の暮らしづくり設備導入促進事業奨励金◆◆

奥出雲町では、家庭や事業所で再生可能エネルギー及び省エネルギー設備を導入する事業に、奨励金を交付します。

対象者等 下表の対象機器・設備を、町内の住宅・事業所に設置しようとする方。

対象機器・設備 対象機器・設備および奨励金額等は次のとおりです。

区分	対象機器	奨励金額等
①	太陽光発電設備	出力1kWあたり5万円（上限20万円）
②	LED照明機器	対象経費1万円以上で1/4以内（上限5万円）
③	高効率給湯器	対象経費1万円以上で1/4以内（上限5万円）
④	断熱（複層ガラス）窓	対象経費1万円以上で1/4以内（上限5万円）
⑤	木質バイオマス熱利用設備（薪・ペレットストーブ等）	対象経費1万円以上で2/3以内（上限40万円）
⑥	蓄電池	定額10万円（ただし設置経費を上限とする。）
⑦	太陽熱利用設備（太陽熱温水器は対象外）	対象経費の1/3（上限20万円）

申請方法 申請書に必要書類を添付し、役場環境政策課まで提出ください。

申請期限 令和7年1月31日（金）まで（ただし、申請額が予算に達したら受付を終了します。）

※区分②及び③は、①太陽光発電設備を同時に設置する場合のみ対象
 ※区分④は、①太陽光発電設備又は⑤木質バイオマス熱利用設備を同時に設置する場合のみ対象
 ※島根県再生可能エネルギー設備等導入支援事業補助金の助成を受けています。
 ※工事着手・機器設置後の申請は、奨励金の対象外となりますのでご注意ください。

奨励金の詳しい内容は環境政策課までお問い合わせください 【申請先・お問い合わせ先】環境政策課 電話:54-2513



環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!
国の補助制度
「住宅省エネ2024
キャンペーン」その2
 この補助金を受けるには、登録された施行事業者へ工事を発注する必要があります。申請手続き等は、工事をする施行事業者が行います。工事を発注された方は、契約を締結した施行事業者を通じて本補助金の還元を受ける事ができます。
 キャンペーンホームページの「住宅省エネ支援事業者の検索」から補助金利用を相談できる事業者の検索ができます。
 こちらの二次元コードの「検索条件」に入力してください。
 都道府県「島根県」、「詳しい条件で絞り込む」をクリックし、相談したい内容を選び、フリーワードに「仁多郡」を入力し、検索すると地元の事業者名が分ります。
 補助金の問い合わせ窓口は、県や町ではなく、「住宅省エネ2024キャンペーン」になりますので、TOPにあるよくあるご質問（PDF）をよく読み、事業者へ金・補助金の相談をしてください。複数の事業者へ見積書を頼み、補助金申請に慣れている事業者を選ぶのがコツです。



第54回 島根県スポーツ少年団剣道交歓会

5月19日、町民体育館で島根県スポーツ少年団剣道交歓会が開催され、県内から9団体12チーム、52名が参加しました。この交歓会は日頃の団活動の成果を発表する場、また団員相互の交流とコミュニケーションを図る場として開催されています。

町内からは4団体5チームが参加し、小学男子の部で横田剣道スポーツ少年団と布勢少年剣道クラブスポーツ少年団、小学女子の部で布勢少年剣道クラブスポーツ少年団が優秀団に入りました。

開始の合図で試合が始まると、激しく剣を交え、地域の指導者や保護者の声援で会場は熱気に包まれました。

▶選手宣誓をする渡部連吉さん
 （阿井地区剣道振興会スポーツ少年団）



島根大学 | 医学部 × 島根県

「しまねMAMEインフォ」



県民のみなさまに向けたしまね健康情報eラーニングシステム「しまねMAMEインフォ（しまねまめいんふぉ）」を、島根大学医学部と島根県が共同で令和3年度に開講しています。

1つ5分程度のスライドや動画による健康情報で、専門講師による分かりやすい内容となっていますので、ぜひご視聴ください。（登録は不要）

スマートフォンでご視聴の場合は
こちらから⇒



パソコンからご視聴の場合はこちらから
⇒ 検索ワード「しまねMAMEインフォ」

仁多郡遺族連合会役員会

仁多郡遺族連合会会長・石原道夫の役員会が、4月27日、佐白温泉長者の湯で開催されました。同連合会の会員数は501名で、先の大戦をはじめ、国のために命を捧げた先人を慰めることや戦争のない国づくりへの協力をするのが主な活動となっています。

同役員会では、令和5年度の事業・決算報告や令和6年度の事業計画や予算について話し合われました。戦没者遺族の高齢化が進む中、痛ましい戦争の体験を風化させることなく、次の世代にその苦悩を正しく語り継ぐことを課題とされました。

石原会長は「本遺族会だけでなく全国的に会員数が減少している。孫・ひ孫の世代へ英霊顕彰と恒久平和への働きかけを継承していかなければならない」と決意を新たにされました。



▲役員会の様子